

一括交付金に係るヒアリングにおける関係府省の意見の整理

一括交付金の制度化に向けた考え方等について、関係府省からヒアリングを行った。同ヒアリングにおける関係府省の意見を整理すると、以下のとおり。

1. 一括交付金の対象となる「ひも付き補助金」の範囲

「一括交付金の制度化に向けた基本的論点」(第2回提出資料)

- 一括交付金の対象となる「ひも付き補助金」の範囲をどうするか。除くこととされている「社会保障・義務教育関係」について、経常と投資、経常を現金給付・保険・サービス給付に分類し、除く範囲を整理してはどうか。
- 災害復旧のように臨時巨額の財政負担に対するものや、防衛施設に関する交付金などについて、どうするか。

- ・ 一括交付金化になじまない補助金等の類型を整理すべき。
 - － 国が責任をもって取り組むべき重要な施策
 - － 国が地方団体に対し「目に見える形で」交付することが必要なもの
 - － 地方の自由度の向上につながりにくい義務的な性格を有する経費
 - － 時間、金額、場所に偏りがある補助金
 - － 災害関係予算 等
- ・ 一括交付金化の対象外とし国策として行う政策は、臨時的に巨額な資源投入が必要なものであり、明確な到達目標を示すものに限定すべき。
- ・ 現金給付・保険に係るものは、一括交付金の対象外としてはどうか。

2. 一括交付金の制度設計

(1) 一括交付金の括り方

「一括交付金の制度化に向けた基本的論点」(第2回提出資料)

- 一括交付金の括り方をどうするか。経常と投資、大まかな政策分野といった括り方をどう考えるか。

- ・ 目先の経常的経費への支出は一般に避け難いことから、投資的経費と経常的経費は、長期的に見た資源配分の失敗とならないよう別々にする必要。
- ・ 教育については、経常、投資の区分けは機械的であり、なじまない。
- ・ 地方の自由度を高める観点に立って、できるだけ大括りにするべき。
- ・ ①国が重点的に推進すべき政策分野を明らかにする必要から、政策意思を適切に表現しうる単位とする、②評価・反映のプロセス(PDCAサイクル)を有効に機

能させる、③メリハリある優先配分を行う、などの観点から、政策分野ごとの区分が必要。

- ・ 政策分野を越えて大括りとするについては、一括化による流用の自由などのメリットに比較して、関係部署との調整の複雑化などの事務負担が増大しないかという観点からも慎重な検討が必要。

(2) 一括交付金の総額、配分

「一括交付金の制度化に向けた基本的論点」(第2回提出資料)

- 一括交付金の総額についてどのように設定するか。
- 一括交付金の地方団体への配分は、どのような仕組みとするか。
- 一括交付金の受け手として、都道府県、市町村を分けて考える必要があるか。

- ・ 政策目的を達成するためには総額の確保が必要。
- ・ 社会資本整備などの投資的経費については、必要な資金額が大きく変動することから、具体的な事業ニーズに基づき、必要な地域に、必要なタイミングで、必要な額の資金が配分される仕組みを確保する必要。
- ・ 一括交付金の配分に当たっては、条件不利地域や財政力の弱い地方団体に配慮した制度設計を行うべき。
- ・ 継続事業の実施への配慮も含め、地方団体の安定的な財政運営に留意して検討すべき。
- ・ 「教育一括交付金」については、義務教育の人件費は県、設置者は市町村となっており、交付金の受け手について十分な検討が必要。

(3) 地方の自由度の拡大と国の関わり

「一括交付金の制度化に向けた基本的論点」(第2回提出資料)

- 地方の自由度の拡大を図る際に、分野別の計画策定など国の事前関与を、どう考えるか。
- 一括交付金の活用状況などに対する事後評価について、どう考えるか。

- ・ 一括交付金に係る国の関与については、事前の関与を抜本的に見直し、事後の関与とする方向で検討すべき。
- ・ 国が政策対応の必要性を認め交付することから、効率的・効果的な使用のため必要最小限の関わりを事前・事後に持つことは不可欠。
- ・ 地方の自由度の拡大と併せて、国としても、地方の適正な事務の執行を確保する方策を検討すべき。
- ・ 地方は、地方自らの監査、評価体制の充実を図る必要。

一括交付金の対象・括り方(イメージ)

1. 一括交付金の対象

		社会保障	義務教育	その他
経常	現金給付	生活保護、子ども手当…	要保護児童生徒援助…	
	保険	高齢者医療、国保、介護…		
	サービス	障害者福祉、母子保健…	義務教育国庫負担金…	農林業振興…
投資		医療施設、保育所…	安全・安心な学校づくり交付金…	社会資本整備総合交付金 農山漁村地域整備交付金…



2. 一括交付金の括り方

【大まかな政策分野別】

